

事前の備え

洪水時には避難できない 避難所があります！

地震などの際の避難所に指定されている施設でも、洪水時には利用できない場所があります。対象施設は洪水による浸水時の水深が 0.5 m から最大 10 m にまで達する恐れがあります。自宅近辺の避難所が洪水時に避難できるかご確認ください。

－洪水時は利用できない避難所－



▲中央体育館

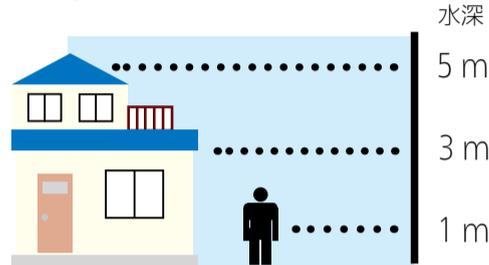


▲第七小学校

【そのほかの洪水時に利用できない避難所】
・第五小学校・第三中学校・都立福生高校

2階に避難すれば大丈夫？

風水害時に河川敷の地域で洪水が発生した場合、想定される水深は最大で 5 m 以上にもなります。水深が 5 m 以上の場合、2階建て住宅の屋根を越える高さになる恐れがあります。特に浸水被害が予想される地域では、市から避難情報が発令された場合、可能な限り最寄りの避難所に避難しましょう。



避難先と家族の電話番号 を確認しましょう！

自宅にいる時に洪水が起きるとは限りません。職場や、頻繁に出かける市内の外先がある場合は、近くの避難所をあらかじめ確認しておきましょう。特に、洪水時は多摩川近辺の避難所は使用できないため注意が必要です。

また、緊急時に家族と連絡が取れるように、お互いの電話番号を確認しましょう。



万が一の備えと知識を

もしも
福生で
洪水が
起きたら。

平成 19 年、猛烈な台風 9 号により南公園と中央公園が冠水する事態が起きました。台風 9 号は暴風雨だけでなく、多摩川の氾濫を引き起こし、園路のアスファルトを剥がすなど、市内に洪水の爪痕を残しました。

自然災害はいつ起きるか分からないからこそ、災害時に正しい行動をするための事前準備が大切です。雨季を迎えるこれからの季節、改めてご自分の地域の避難所や事前の備えをご確認ください。

写真：福生南公園（平成 19 年）

洪水時の確認

常に最新の情報で災害状況の確認を！

最新の気象情報や多摩川の雨量・水量などは、気象庁や国土交通省京浜河川事務所などのホームページから入手できます。常に最新の情報で正しい避難を行いましょう。



気象庁 QR コード

多摩川洪水・内水ハザードマップで 市内の危険区域を確認！

平成 29 年度に全戸配布した「福生市多摩川洪水・内水ハザードマップ」には、洪水時に市内でどのような被害が発生するか、また、その時にどこへ避難したら良いかなどの情報を掲載しています。

【問合せ】安全安心まちづくり課防災係
☎ 551・1638



多摩川洪水・内水ハザードマップ QR コード

市内で想定される浸水被害区域

洪水時には、浸水被害区域内の避難所は利用できない場合があります。その際は、第二小学校や第一中学校などに避難しましょう。

